

議第14号

平成30年度京都市水道事業特別会計予算

(総則)

第1条 平成30年度京都市水道事業特別会計の予算は、次に定めるところによる。

(業務の予定量)

第2条 業務の予定量は、次のとおりとする。

事 項	区 分	事 業 量	概 要
年間総給水量		182,500,000 ^{m³}	
1日最大給水量		529,000	
1日平均給水量		500,000	
期首使用者数		779,000 ^件	
期末使用者数		784,000	
増加見込数		5,000	
主要な建設改良事業		千円	
水道整備事業		13,500,000	
水道管路の改築更新・地震対策		11,100,000	老朽化した配水管の更新
水道施設の改築更新・地震対策		2,400,000	浄水場施設の改築更新及び地震対策

(収益的収入及び支出)

第3条 収益的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。

収 入

第1款 水道事業収益 34,749,000千円

第1項 営業収益 31,861,307千円

第2項 営業外収益 2,887,693千円

支 出

第1款 水道事業費用	30,341,000千円
第1項 営業費用	26,045,276千円
第2項 営業外費用	4,295,724千円

(資本的収入及び支出)

第4条 資本的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める（資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額14,882,000千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額938,660千円、当年度利益剰余金処分額及び損益勘定留保資金13,943,340千円で補填するものとする。）。

収 入

第1款 資本的収入	10,639,000千円
第1項 企業債	7,757,000千円
第2項 出資金	1,522,000千円
第3項 国庫補助金	249,450千円
第4項 工事負担金	277,834千円
第5項 加入金	470,422千円
第6項 基金収入	279,335千円
第7項 基金繰入金	82,550千円
第8項 その他資本的収入	409千円

支 出

第1款 資本的支出	25,521,000千円
第1項 建設改良費	14,444,643千円
第2項 企業債償還金	10,763,054千円
第3項 投資	279,335千円
第4項 その他資本的支出	33,968千円

(債務負担行為)

第5条 債務負担行為をすることができる事項、期間及び限度額は、次のとおりと定める。

事 項	期 間	限 度 額
水 道 整 備 事 業	平成30年度から平成33年度まで	千円 8,646,000
諸 施 設 整 備	平成30年度及び平成31年度	50,000
諸 施 設 修 繕	平成30年度及び平成31年度	100,000
施設運転管理等業務	平成30年度から平成34年度まで	2,116,000

(企業債)

第6条 起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、次のとおりと定める。

起 債 の 目 的	限 度 額	起債の方法	利 率	償還の方法
水 道 建 設 改 良 費	千円 5,000,000	発行価格が額面金額を下回る場合は、その発行価格差を埋めるため必要な金額をこれに加算した額	証券発行(他の地方公共団体との共同発行を含む。)又は消費貸借の方法による。	起債の日から据置期間を含め40年以内、元金均等その他の方法により償還する。ただし、財政都合その他の上償還をすることができる。
計	5,000,000			

(一時借入金)

第7条 一時借入金の限度額は、8,000,000千円と定める。

(予定支出の各項の経費の金額の流用)

第8条 予定支出の各項の経費の金額を流用することができる場合は、次のとおりと定める。

(1) 消費税及び地方消費税に不足が生じた場合における営業費用及び営業外費用の間の流用

(利益剰余金の処分)

第9条 当年度利益剰余金のうち2,218,536千円は、次のとおり処分するものと定める。

建設改良積立金	2,218,536千円
---------	-------------

(たな卸資産購入限度額)

第10条 たな卸資産の購入限度額は、800,000千円と定める。

平成30年2月16日提出

京都市長 門川大作